平成 24 年度　事務事業事後評価調書（平成　23　年度事業）

整理番号	4	ー	4

1　事務事業の表示

※ ■ ： 該当

事務事業名	雄武斎場火葬管理等業務委託事業					
評価者	担当課名		住民生活課	担当係名		環境衛生係
	管理職	職名	課　長	作成者	職名	係　長
		氏名	渡 邊 孝 司		氏名	苫米地 幸 二
事業の概要	火葬認可に伴う、火葬業務の執行、斎場施設の維持管理及び墓地・墓園内の草刈及び清掃といった周辺環境の維持を業務とし、平成10年度より民間業者に委託。			全体計画 /単年度繰返（平成 20 年度～ 24 年度）		
				事業費	国・道支出金	千円
					地方債	千円
					その他	千円
					一般財源	6,243 千円
					事業費計	6,243 千円
実施方法	□ 直営	■ 民間委託	□ その他（　）			
第５期総合計画（前期）	■ 登載事業	□ 非登載事業	優先度	B		
事業の位置付け	政策目標	4	うるおい・雄武～生活環境・生活基盤の充実～			
	基本施策	15	環境の保全			
	単位施策	3	景観形成・環境美化・公害防止の推進			
	事務事業の種類	■ 自治事務	□ 法定受託事務			
	その他計画・根拠等	雄武町火葬場の設置及び管理に関する条例				

事業費	実施年度	20年度（実績）	21年度（実績）	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)
	国・道支出金	千円	千円	千円	千円	千円
	地方債	千円	千円	千円	千円	千円
	その他財源	千円	千円	千円	千円	千円
	雄武町負担額（一般財源）	1,310 千円	1,240 千円	1,230 千円	1,230 千円	1,231 千円
	合計	1,310 千円	1,240 千円	1,230 千円	1,230 千円	1,231 千円

2　事務事業の目的・内容（Plan・Do）

【誰、何が（対象）】	墓地・墓園・斎場利用者	望ましい指標（目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標）		
【抱える課題やニーズは】	火葬許可申請に伴う、適切な業務の執行。	業務の適切な執行及び施設の適切な維持管理		
		指標（指標計算式／解説）	目標値及び実績値	
【どのような状態になることを目指したのか（意図）】	町民の斎場等の利用にすべからく応えるため、施設の適切な維持管理及び運営に努める。	① 火葬業務数÷火葬許可申請数×100／適切な業務の執行率	目標年度	平成23年度
			目標値	100%
			実績値	100%
			達成度	100.0 %
【その結果、どのような成果を実現したいか】※成果＝目的	民間委託により、利用者へのサービスの向上と円滑なる業務が確保されるとともに、経費の節減を図る。	②	目標年度	
			目標値	
			実績値	
			達成度	%

内容（どのような手段で何を行ったか）	
民間企業への業務委託	サービス向上と経費節減のため、民間企業に業務委託した。

3 事務事業の評価（Check）

（1）事務事業の必要性（町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性）

必要 必要／概ね必要／課題あり	□義務的なもの □全部 □一部	公衆衛生法上、必要な施設であり、火葬場の経営は墓地埋葬法上、永続性・非営利性が求められ、民間委託により施設の適切な維持管理及び運営が行われ、経費の節減が図られている。

(2)事務事業の有効性（期待する効果が得られたか）

有効 有効／概ね有効／課題あり	設定した目標値の達成状況 ■達成 □ほぼ達成 □下回る	民間委託により、適切な業務の執行及び事業費の抑制が図られている。

(3)事務事業の効率性（コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか）

効率的 効率的／概ね効率的／課題あり	判断の理由 ■事業費抑制 ■人員削減 □時間短縮・作業軽減 □その他	民間委託により、人員及び事業費の抑制が行われている。

(4)事務事業の公平性

公平 公平／概ね公平／公平でない	判断の理由 ■受益者負担がある □受益者負担がない □受益が一部に偏る □その他	地域住民が利用する施設であり、受益者負担もあることから直営同様に民間委託によっても公平と判断する。

4 総合評価【A～D】

A：計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当　等
B：ほぼ計画通りに進んでいるが目標に達成していない。事業の進め方に改善が必要　等
C：当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要　等
D：事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要　等

自己評価（一次評価）	評価会議評価（二次評価）	町長評価（三次評価）
A		
火葬場は公衆衛生上、地域社会において、不可欠な施設であり、業務の民間委託は、事業費の抑制のため必要と考えることから、計画どおり事業を進めることが適当と判断する。		

今後の展開方向
（Action）

継続／現状維持		
委託先の火葬従事者においては、平成10年度の民間委託からの永年の従事経験による専門的知識を有し、利用者に対するサービスの向上、また、後継従事者の育成を含め複数人での従事体制も確立しつつあり、今後も現状維持が適当である。		

＊展開方向の区分
○ 継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更　○ 終了　○ 休止　○ 廃止

5 その他特記事項（アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入）